

「JR九州NFT」プロジェクト 独自のマーケットプレイスにてNFTを販売開始！

九州旅客鉄道株式会社（以下、「JR九州」）は、NFTを活用することで、お客さまと多様な接点を築くとともに新しい価値や九州の楽しみ方を提案することを目指す「JR九州NFT」プロジェクトの取り組みとして、2023年7月19日（水）10:00に販売サイトをオープンし、NFTの販売を開始いたします。

また駅や列車のご利用により無料でNFTを取得いただける企画についても、近日中の開始に向けて準備中です。開始日は販売サイト「JR九州NFT」でお知らせいたしますのでご注目ください。

今後も鉄道を活用したNFTコンテンツをご用意してまいりますのでご期待ください。

1 販売サイトの機能について

- ・販売しているNFTの種類や価格等の基本情報のほか、商品の個別の販売状況もご確認いただけます。
- ・特典としてお渡しするNFTの種類、獲得可能な企画の内容等をご確認いただけます。
- ・無料取得可能なNFTの種類、期間、場所等の情報をご確認いただけます。 ※今後実装予定
- ・マイページにて、お客さま自身のNFT保有状況、ウォレット情報をご確認いただけます。

2 第1弾 販売商品について

NFTの購入方法など、詳細については、販売サイト「JR九州NFT」をご覧ください。

[URL] <https://nft.jrkyushu.co.jp>

第1弾 販売商品：「“かもめ”シリーズ」



※画像は開発中のものです。

- ・数量：限定 各 100 個
- ・価格：各 3,300 円（税込）
- ・ご紹介：最新の西九州新幹線かもめから国鉄色 485 系まで、1976 年以降に九州で運行している列車の中から厳選の 6 種類を商品化しました。各商品の詳細は別紙にてご確認ください。
- ・仕様：動画（スライドムービー）形式

○購入特典

6 種類のかもめを全てお買い上げの方に、「スペシャルかもめ NFT」をプレゼント。

※「スペシャルかもめ NFT」は後日の配布となります。

- ・仕様：動画（スライドムービー）形式

2022 年 9 月 23 日に開業した西九州新幹線かもめ。
その開業キャンペーンの中で、2022 年 8 月 7 日の 1 日だけ
走行した「HAPPY BIRTHDAY！」ラッピング新幹線をスペシャル
な NFT としてご用意いたしました。



※画像は開発中のものです。

3 その他

〈参考リリース資料：鉄道業界初！NFT プラットフォームを備えた「JR 九州 NFT」プロジェクト、始動!!〉

https://www.jrkyushu.co.jp/news/_icsFiles/afieldfile/2023/05/09/20230509_ntf_platform_1.pdf

○販売商品一覧

No	販売商品	ご紹介	限定数	価格 (税込)
1		西九州新幹線「かもめ」 「九州らしいオンリーワンの車両」をコンセプトに2022年デビュー。エクステリアにはJR九州のコーポレートカラーである赤を配色、シンボルマークやロゴを配置しています。	100	3,300円
2		「かもめ」(885系) 白を基調とした外観に振り式走行装置を装備した885系電車は、2000年のデビュー以降、ブルーリボン賞やプルネル賞・長距離旅客列車部門(国際賞)、グッドデザイン賞を受賞しており、「白いかもめ」の愛称で親しまれています。 撮影日：2009年7月31日 撮影場所：都府楼南～太宰府信号場 撮影者：田代淳郎	100	3,300円
3		「かもめ」(787系) 鹿児島本線の特急「つばめ」として1992年にデビューし、ブルーリボン賞やプルネル賞・長距離旅客列車部門(国際賞)を受賞した787系電車が、1994年に長崎本線にも投入されました。 撮影日：2013年7月13日 撮影場所：肥前麓～中原 撮影者：田代淳郎	100	3,300円
4		「かもめ」(485系) 従来の485系電車「かもめ」は、赤色の車体にリニューアルされ「KAMOME EXPRESS」の愛称が付けられました。	100	3,300円
5		「かもめ」(783系) JR九州発足後初の新型特急であり、ローレル賞を受賞した783系電車「ハイパーサルーン」が、1989年に「かもめ」で運用され始めました。 「かもめ」・「みどり」・「ハウステンボス」併結運転 撮影日：2002年8月19日 撮影場所：天拝山～原田 撮影者：田代淳郎	100	3,300円
6		「かもめ」(485系・復活臨時) 1975年、山陽新幹線博多開業に伴い気動車特急「かもめ」が廃止となりましたが、1976年に485系電車を使用したエル特急「かもめ」として再度復活。博多～長崎間を結ぶ特急として定着しました。 撮影日：2011年6月25日 撮影場所：基山～弥生が丘 撮影者：田代淳郎	100	3,300円